

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び備品……定率法によっている。

ソフトウェア……定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	2,682,570	0	2,682,570
検診車買換積立預金	106,000,000	13,000,000	0	119,000,000
検診車買換引当預金	13,000,000	5,100,000	13,000,000	5,100,000
小 計	119,000,000	20,782,570	13,000,000	126,782,570
合 計	149,000,000	20,782,570	13,000,000	156,782,570

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	2,682,570	—	(2,682,570)	(2,682,550)
検診車買換積立預金	119,000,000	(119,000,000)	—	—
検診車買換引当預金	5,100,000	(5,100,000)	—	—
小 計	126,782,570	(124,100,000)	(2,682,570)	(2,682,550)
合 計	156,782,570	(154,100,000)	(2,682,570)	(2,682,550)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	116,903,350	115,753,345	1,150,005
備品	13,238,000	13,237,985	15
合 計	130,141,350	128,991,330	1,150,020